

2024年版

デジタルコンテンツ購入時の 決済手段に関する調査



Index

[P.4](#) 調査概要

[P.5](#) 回答者属性

[P.6](#) よく利用する決済手段

[P.7](#) よく利用する決済手段 過去推移

[P.8](#) 最も利用する決済手段

[P.11](#) 最も利用する決済手段の利用理由

[P.13](#) 最も利用する決済手段 過去推移

[P.14](#) 決済手段不足によるサイト離脱率

[P.15](#) 購入頻度の変化

[P.16](#) デジタルコンテンツ購入時の要望

[P.17](#) SBペイメントサービス 会社概要

[P.18](#) SBペイメントサービス 事業概要

調査概要

調査概要

調査内容

デジタルコンテンツ購入時の決済手段に関する調査

調査対象者

1年以内にデジタルコンテンツの代金を支払ったことのある男女

回答者数

2,350人（男性：1,221人／女性：1,129人）

調査方法

インターネットリサーチ

調査期間

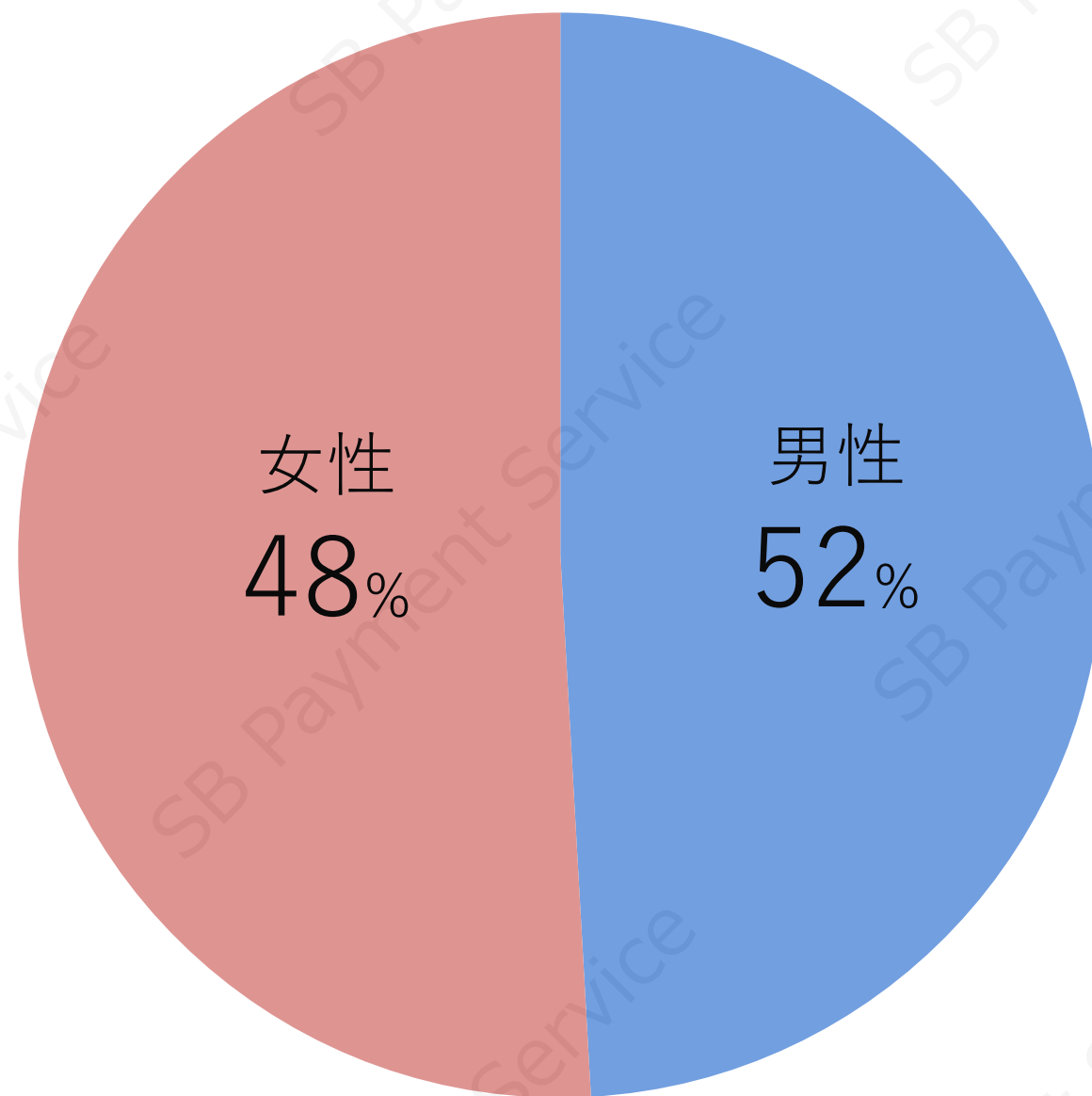
2024年5月20日～2024年6月6日

調査元

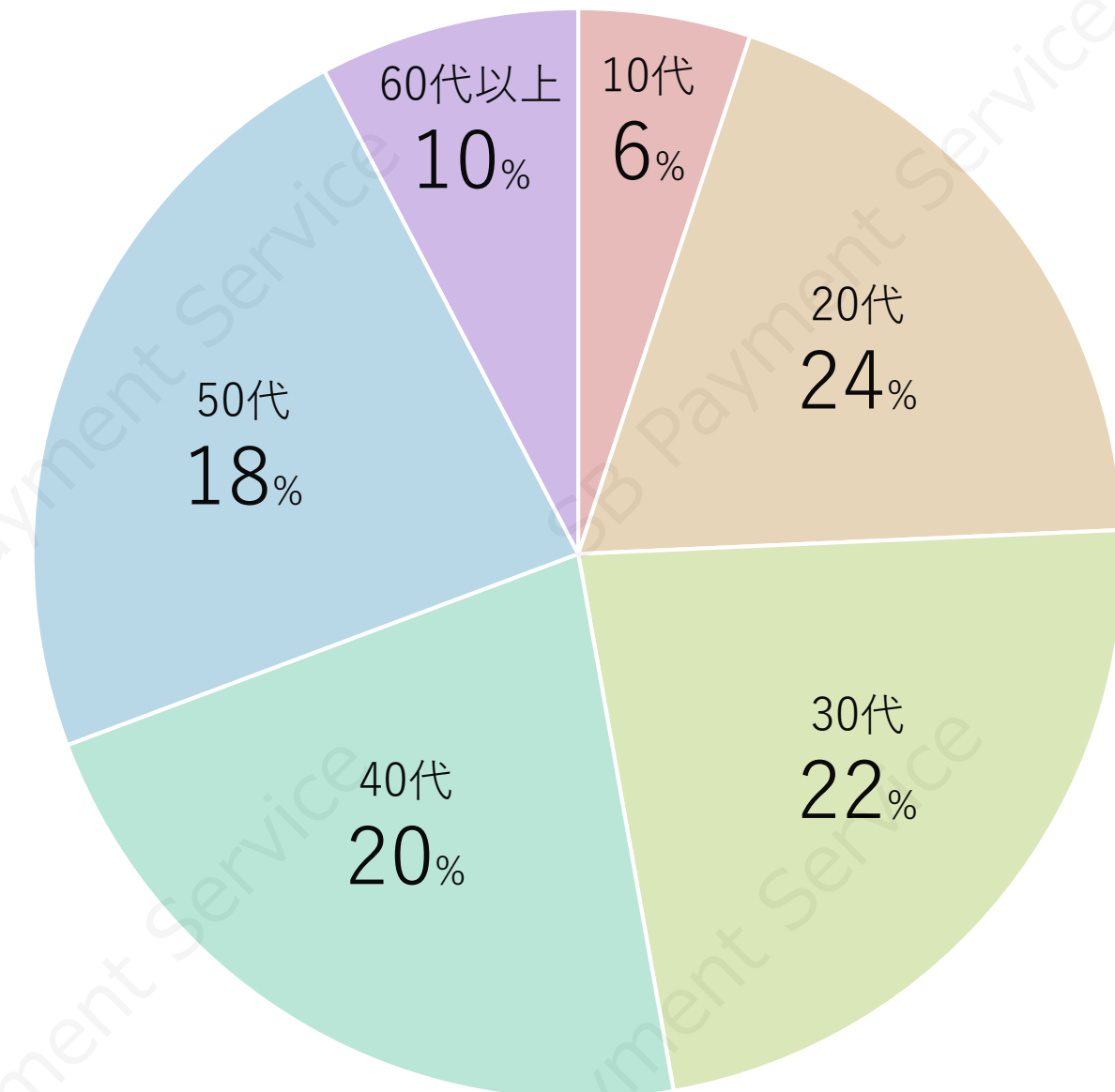
SBペイメントサービス株式会社

回答者属性 (性別／年代)

性別

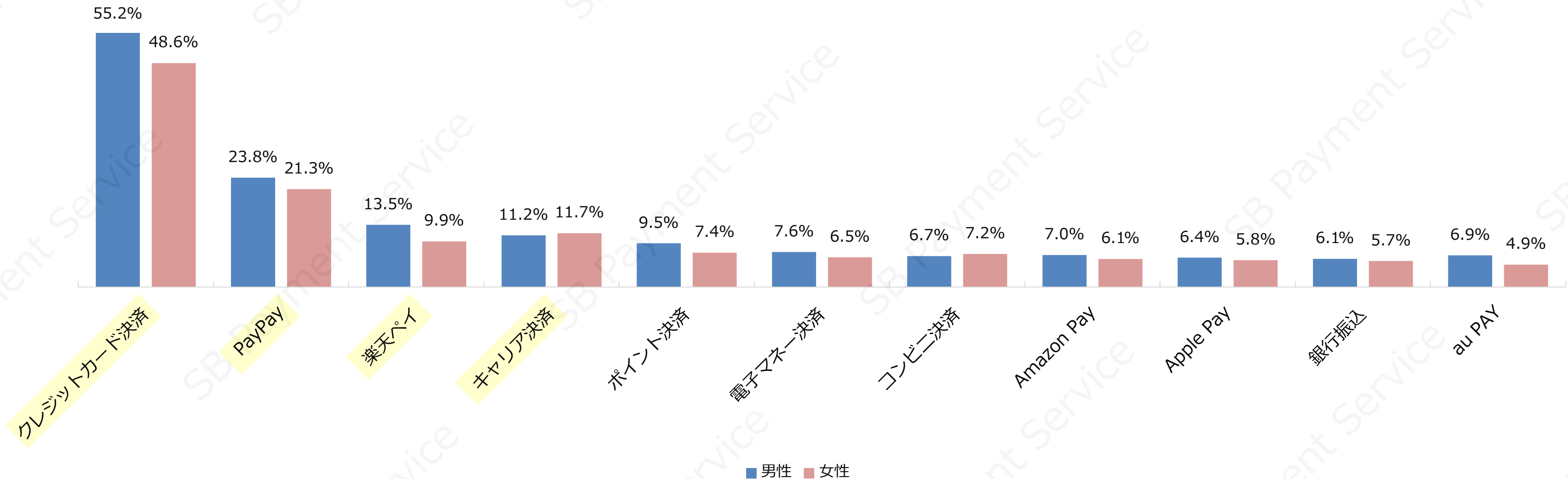


年代



よく利用する決済手段

デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段として**クレジットカード決済**が最も多く選ばれ、次に**PayPay**となった。
3位には男性が**楽天ペイ**、女性は**キャリア決済**を選択しており、男女で傾向が分かれる結果となった。



※10位までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

※12位以降の選択肢：口座振替 / Google Pay / プリペイドカード決済 / Yahoo!ウォレット決済 / LINE Pay / 後払い決済 / PayPal / Pay-easy決済 / メルペイネット決済 / リクルートかんたん支払い / 中華系決済 / その他（自由回答）

※各内訳 ■後払い決済：Paidy、atone、NP後払い ■電子マネー決済：モバイルSuica、楽天Edy ■プリペイドカード決済：Webmoney、NET CASH、BitCash、JCB Premo
■ポイント決済：Tポイントプログラム、永久不滅ポイント、ネットマイル ■中華系決済：銀聯ネット決済、Alipay+、WeChat Pay

（複数選択 n=2,350）

よく利用する決済手段（過去推移）

クレジットカード決済は、2018年から2024年で**31.6%減**と大きく低下している。
また、キャリア決済やコンビニ決済、銀行振込も減少しつつある。
一方、PayPayや楽天ペイなどのQRコード決済はこの5年間で大きく増加傾向にある。

	2018年	2020年	2021年	2022年	2024年
クレジットカード決済	83.6%	75.4%	60.9%	60.0%	52.0%
PayPay	-	12.5%	20.8%	22.8%	22.6%
楽天ペイ	5.3%	6.1%	10.3%	12.5%	11.8%
キャリア決済	16.6%	16.9%	11.8%	11.5%	11.4%
ポイント決済	5.7%	3.7%	11.9%	10.1%	8.5%
電子マネー決済	8.2%	7.1%	11.0%	10.2%	7.1%
コンビニ決済	19.5%	13.3%	9.4%	7.1%	6.9%
Amazon Pay	-	3.6%	7.2%	6.5%	6.6%
Apple Pay	5.5%	4.8%	6.5%	6.4%	6.1%
銀行振込	9.4%	8.2%	8.5%	8.1%	5.9%
au PAY	-	-	6.6%	7.1%	5.9%
口座振替	8.3%	7.9%	7.8%	6.9%	5.8%

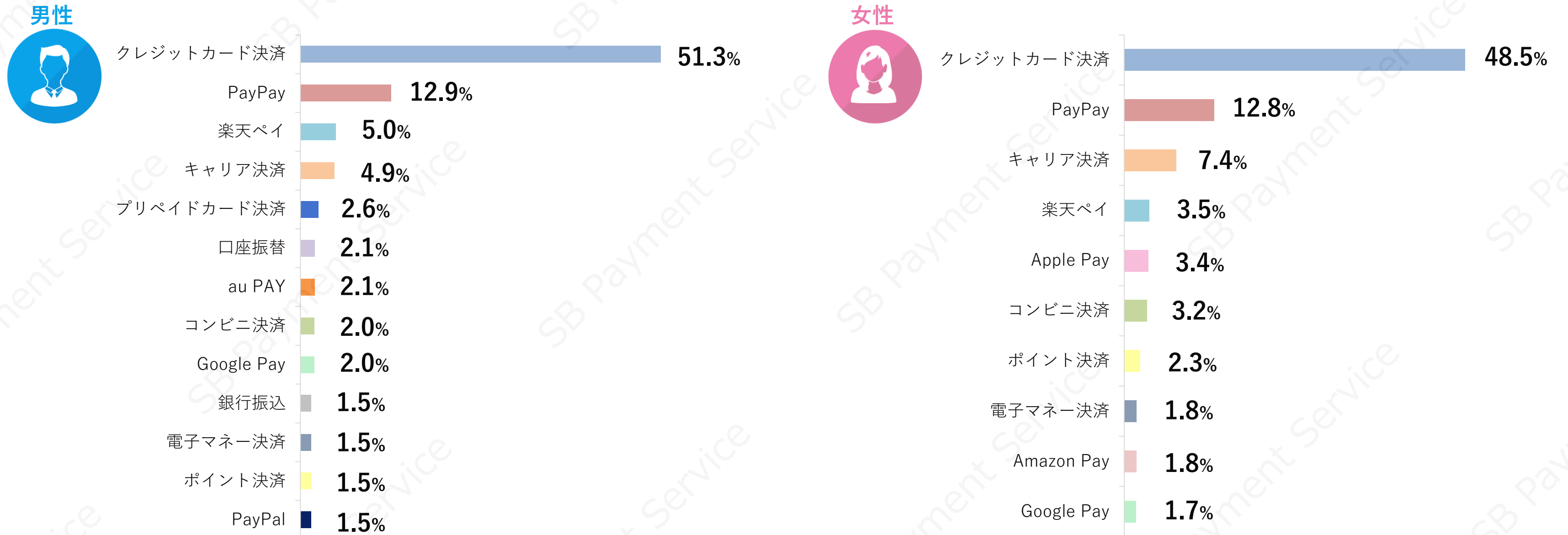
	2018年	2020年	2021年	2022年	2024年
Google Pay	4.9%	3.9%	6.6%	5.0%	5.3%
プリペイドカード決済	4.7%	5.1%	6.6%	4.6%	5.2%
Yahoo!ウォレット決済	7.9%	4.7%	7.9%	6.4%	5.0%
後払い決済	-	-	-	4.8%	4.6%
LINE Pay	4.0%	5.2%	6.9%	5.9%	4.6%
PayPal	3.0%	2.9%	6.7%	5.5%	4.6%
Pay-easy決済	5.7%	5.1%	4.7%	4.7%	4.3%
メルペイネット決済	-	3.6%	4.3%	4.2%	3.7%
リクルートかんたん支払い	2.3%	1.9%	3.4%	2.8%	2.9%
中華系決済	3.5%	3.9%	8.1%	7.5%	2.4%
エポスかんたん決済	-	-	3.0%	3.1%	2.0%

※-と記載の場合は調査時の選択肢としてなし、その他（自由回答）の決済手段は割愛

（複数選択 2018年:n=1,173 / 2020年:n=2,335 / 2021年:n=2,253 / 2022年:n=2,312 / 2024年:n=2,350）

最も利用する決済手段

男女共に**約半数**が**クレジットカード決済**を最も利用すると回答し、次いで**1割以上**が**PayPay**と回答した。
その後、**楽天ペイ**、**キャリア決済**が続き、以降は年々決済手段の数が増加している状況から、**様々な決済手段に分散する結果**となった。



※10位までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

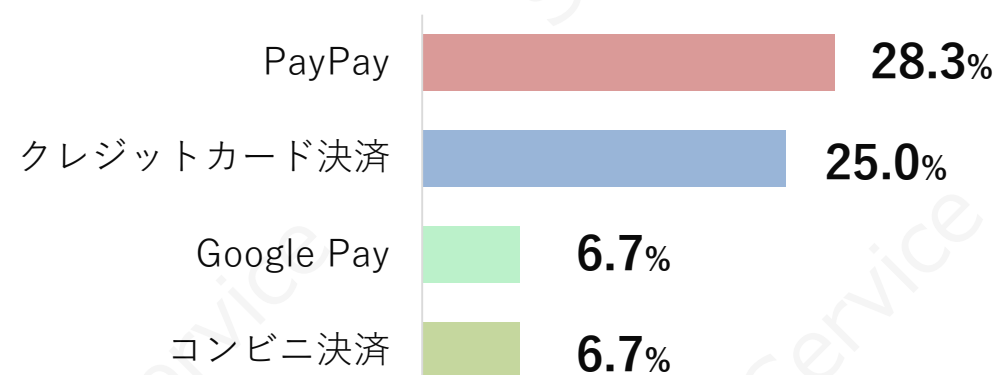
（単一選択 男性:n= 1,221 女性:n= 1,129）



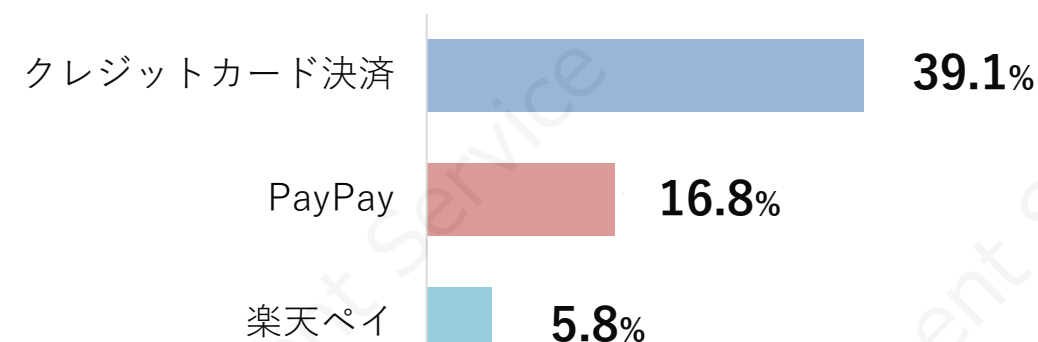
最も利用する決済手段（男性×年代別）

10代男性は**PayPay**が最も利用率が高く、クレジットカード決済以外の決済手段が浸透していることが分かる。
また全年代で**PayPay**や**楽天ペイ**などの**QRコード決済の利用率が高い**ほか、10代と60代以上男性では**Google Pay**も選ばれている。

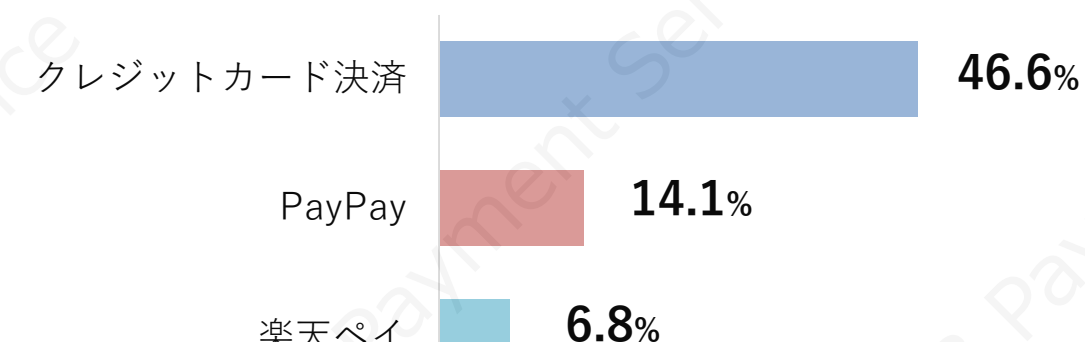
10代



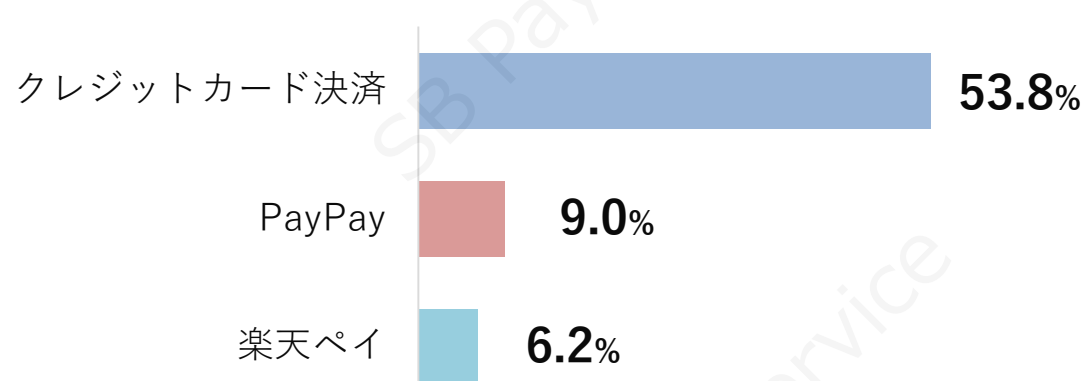
20代



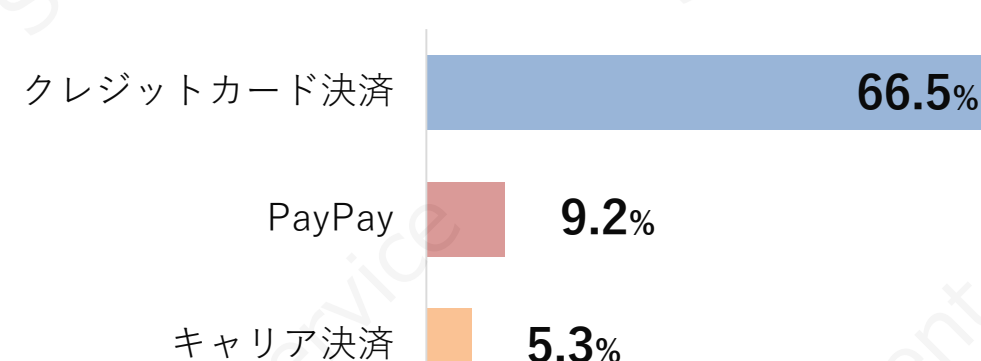
30代



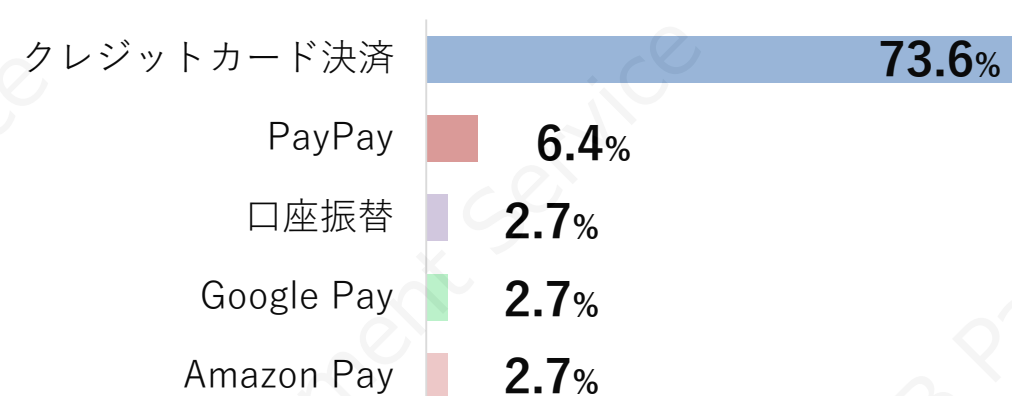
40代



50代



60代~



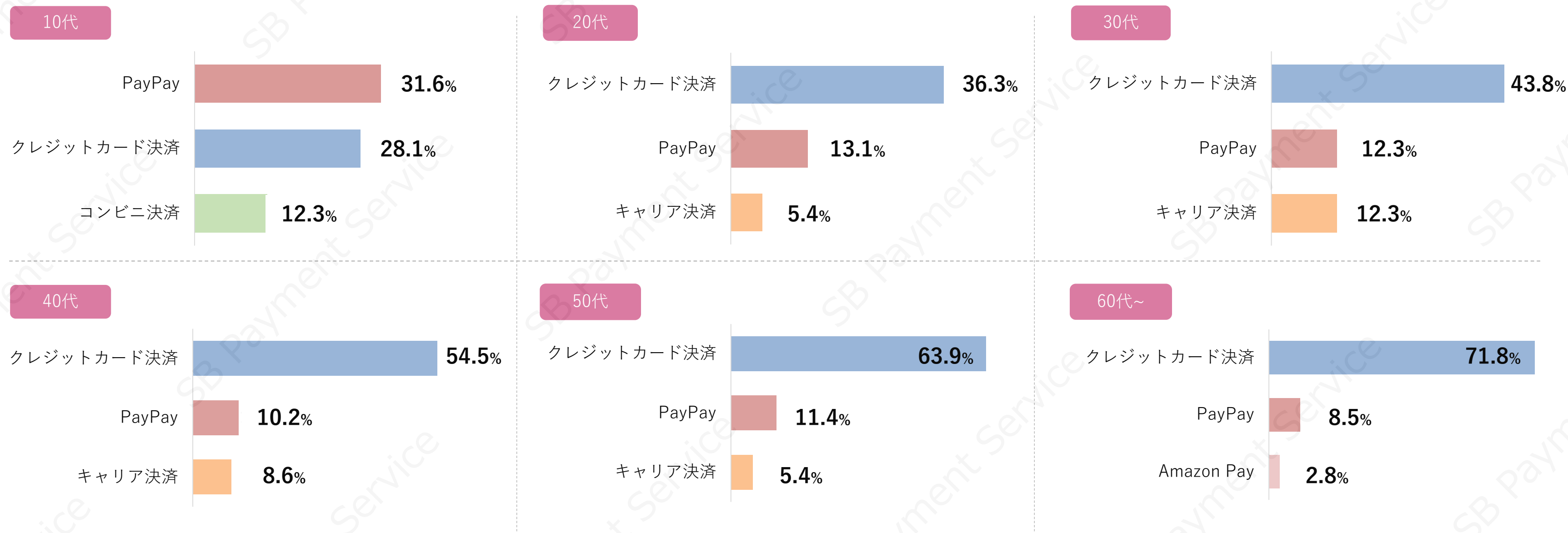
※3位までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

（単一選択 n=1,221）



最も利用する決済手段 (女性×年代別)

10代女性は**PayPay**が最も利用率が高く、年代が上がるごとにクレジットカード決済の割合が上がっている。
また、クレジットカード決済やPayPayの他に、**キャリア決済**の利用が多い傾向にある。



※3位までの決済手段を表示 (同率の場合はすべて表示)

(単一選択 n=1,129)

最も利用する決済手段の利用理由（上位5サービス）

	クレジットカード決済	PayPay	キャリア決済	楽天ペイ	コンビニ決済
男性 	対応しているサイトが多く、ポイントも確実に貯まるから（40代）	キャンペーンなどが多いから（20代）	携帯と請求をまとめられて便利。いくら使ったか分かりやすいから（40代）	ポイントで支払えて、さらにポイントが貯まるから（20代）	簡単だから（10代）
	支払い先をなるべく一つに統一したいから（30代）	使えるところが多いから（20代）	上限設定により使いすぎの防止になるため（20代）	楽天ポイントが貯まるから（30代）	近くにコンビニがあり、支払いが確実なため（60代以上）
	保険サービスなどもついてくるから（20代）	ポイントが貯まりやすいから（30代）	便利で楽だから（30代）	使いやすいから（50代）	利用しやすくて便利だから（20代）
女性 	支払いするたびにチャージをする必要がないから（50代）	クレジットカードを持っておらず、1番手軽だから（20代）	月々のお支払いにまとめて請求されるのでわかりやすいから（40代）	ポイント還元率が高いから（50代）	コンビニだったら必ず行くし、支払いと買い物が一緒に出来て楽なため（20代）
	ポイントがたまるし、利用明細がきちんとでるから（40代）	チャージする時間も短く、素早く支払うことが出来るから（20代）	クレジットカードより安全な気がするから（40代）	使い慣れているから（40代）	なるべく現金で支払いたいため（40代）
	簡単でわかりやすく、家計簿アプリにつけやすいから（20代）	使いやすく、ポイントがつくから（50代）	スマホ代と一緒に引き落としされるので確認しやすいから（50代）	ポイントが貯まるから（20代）	コンビニで支払うと不正利用などの心配がないし楽だから（10代）

最も利用する決済手段の利用理由（その他サービス）

Apple Pay	プリペイドカード決済	ポイント決済	Google Pay	口座振替
Face IDで認証したらすぐ払えるので楽だから (30代・女性)	無駄な利用を防ぐことができるため (40代・男性)	使いやすく、口座情報を出さずに済むから (40代・男性)	貯まったポイントを使えるから (50代・女性)	チャージなどの手間がないから (50代・男性)
一番スムーズに支払いを済ませることができるから (30代・女性)	コンビニなどで買えて簡単に支払えるから (10代・男性)	使いすぎることなく、支払えるから (10代・男性)	使いすぎなくて済むため (10代・男性)	支出管理がしやすいから (20代・男性)
Amazon Pay	au PAY	銀行振込	LINE Pay	Yahoo!ウォレット決済
Amazonをよく利用しているため (20代・男性)	一番使うデジタルコンテンツがauブックパスなため (50代・女性)	ネット銀行でできて楽だから (60代以上・男性)	比較的セキュリティがしっかりしているように感じるため (50代・男性)	機能性が高く使い勝手がいいから (30代・男性)
手間が掛からず簡単だから (50代・男性)	ポイントが貯まりやすいから (30代・男性)	安心だから (40代・男性)	サイトによって割引などメリットがあるため (60代以上・男性)	便利だし管理がしやすいから (40代・男性)

最も利用する決済手段（過去推移）

この5年間で**クレジットカード決済**を最も利用すると回答した方が**26.2%減少**し、コンビニ決済も減少傾向。
一方、**PayPay**や**楽天ペイ**などの**QRコード決済**を筆頭に**Apple Pay**、**ポイント決済**、**Google Pay**等は**増加している傾向**にある。

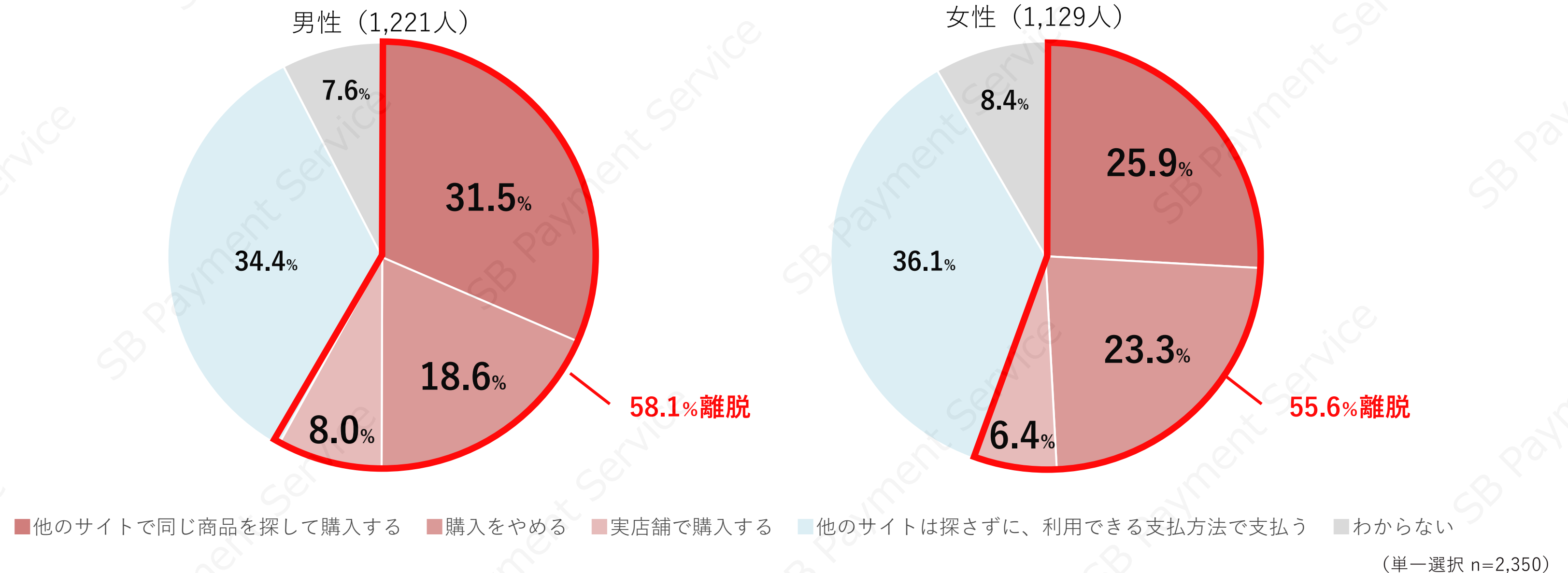
	2018年	2020年	2021年	2022年	2024年		2018年	2020年	2021年	2022年	2024年
クレジットカード決済	76.2%	74.9%	59.4%	56.3%	50.0%	銀行振込	1.1%	1.3%	1.4%	1.1%	1.5%
PayPay	-	3.2%	7.5%	9.7%	12.9%	au PAY	-	-	1.6%	2.3%	1.5%
キャリア決済	4.8%	6.0%	4.4%	4.8%	6.0%	PayPal	0.1%	0.2%	1.2%	1.0%	1.5%
楽天ペイ	0.3%	0.7%	2.4%	3.5%	4.4%	後払い決済	-	-	-	0.9%	1.2%
コンビニ決済	8.0%	4.9%	3.0%	1.9%	2.6%	LINE Pay	0.4%	0.7%	1.2%	0.9%	1.0%
Apple Pay	0.8%	0.6%	1.3%	1.6%	2.2%	Yahoo!ウォレット決済	0.8%	0.2%	1.4%	1.6%	0.9%
プリペイドカード決済	1.4%	1.5%	2.2%	1.6%	1.9%	Pay-easy決済	1.0%	0.5%	0.6%	0.7%	0.8%
ポイント決済	0.6%	0.1%	1.4%	1.7%	1.9%	中華系決済	0.1%	0.4%	1.1%	1.4%	0.6%
Google Pay	0.6%	0.7%	1.3%	1.5%	1.8%	メルペイネット決済	-	0.3%	0.7%	0.8%	0.5%
口座振替	0.8%	1.8%	1.7%	1.9%	1.7%	エポスかんたん決済	-	-	0.6%	0.4%	0.5%
電子マネー決済	1.2%	1.1%	2.7%	1.9%	1.6%	リクルートかんたん支払い	0.0%	0.0%	0.6%	0.4%	0.4%
Amazon Pay	-	0.1%	1.3%	0.9%	1.6%						

※-と記載の場合は調査時の選択肢としてなし、その他（自由回答）の決済手段は割愛

（単一選択 2018年:n=1,173 / 2020年:n=2,335 / 2021年:n=2,253 / 2022年:n=2,312 / 2024年:n=2,350）

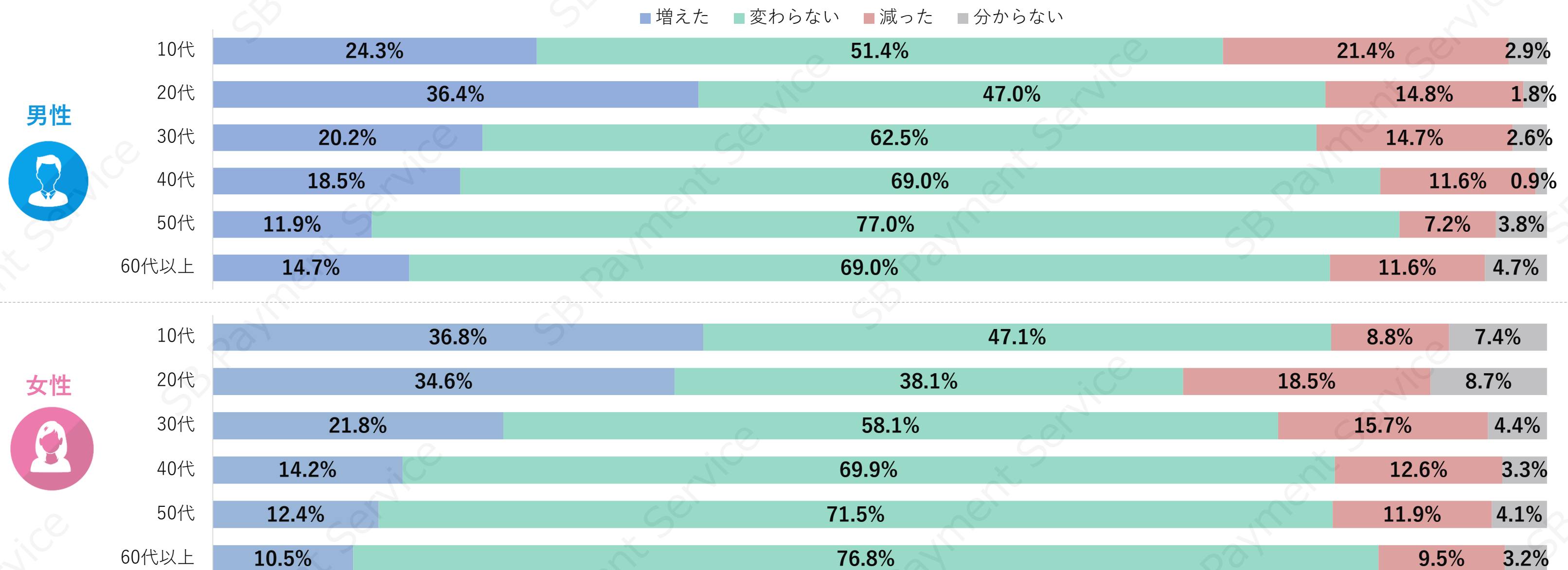
決済手段不足によるサイト離脱状況

デジタルコンテンツを購入しようとした際によく利用する決済手段がない場合、男女ともに**約6割**がそのサイトでは購入せず離脱することが分かった。また、そのうちの**約4割**が他のサイトや実店舗で購入するなど、**購買意欲が高い方も決済手段が要因で離脱していることからサイトにおける決済手段の重要性**が分かる。



購入頻度の変化（性別／年代別）

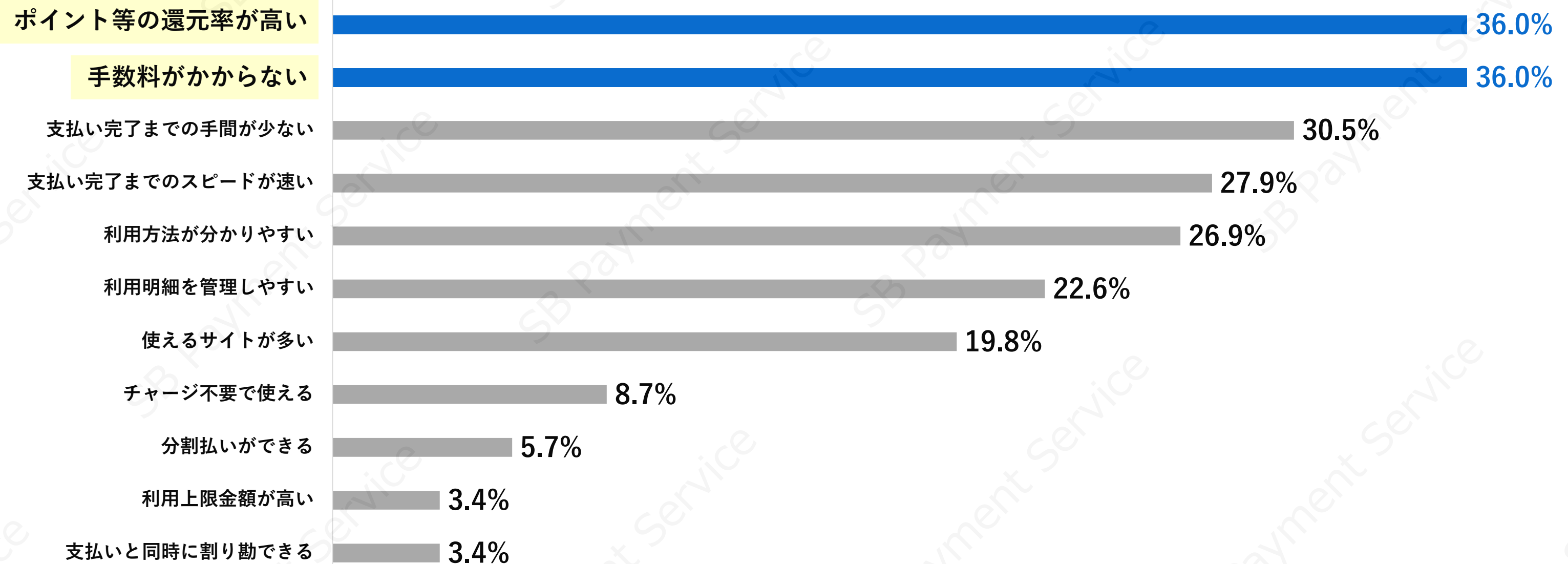
2022年と比較しデジタルコンテンツの購入頻度に変化はあったかと質問したところ、全世代で**7割以上**が増えたもしくは変わらないと回答したことから、**引き続きデジタルコンテンツを利用する意向が高いこと**がわかる。



（単一選択 n=2,350）

デジタルコンテンツ購入時のキャッシュレス決済に関する要望

キャッシュレス決済のニーズとしては、
支払いまでの手間や時間よりも**ポイント還元率の高さや手数料無料などのニーズが高い傾向**にある。



(複数選択 n=2,350)

会社概要

会社概要

社名	SBペイメントサービス株式会社
設立年月日	2004年10月1日
資本金	60億7,500万円
株主	ソフトバンク株式会社 100%出資
事業内容	決済サービス、プリペイドカード発行サービス ポイントサービス、集金代行サービス 送金サービス 上記に付随するコンサルティングサービス
従業員数	434人（委託社員含む）
拠点	本社：東京都港区海岸1丁目7番1号 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 大阪：大阪府大阪市中心区城見1-2-27 クリスタルタワー7階
関連会社	SBギフト株式会社
各種免許 許認可一覧	前払式支払手段（第三者型）発行者 関東財務局長 第00625号 資金移動業者 関東財務局長 第00017号 電気通信事業者 関東総合通信局長 A-29-16195 クレジットカード番号等取扱契約締結事業者 関東（ク）第7号 電子決済等代行業者 関東財務局長（電代）第15号

役員一覧

代表取締役社長 兼 CEO	榛葉 淳 （ソフトバンク株式会社 代表取締役 副社長執行役員 兼 COO）
代表取締役副社長 兼 COO 兼 CISO	堀田 智宣
常務取締役 兼 CSO	平田 敏昭
取締役 兼 CFO 兼 CCO	沖本 泰朋
取締役	佐々木 一浩 （ソフトバンク株式会社 常務執行役員 兼 CDO）
取締役	遊木 宏一
常勤監査役	佐野 康一
監査役	桃崎 有治
監査役	秋山 修

事業概要

オンライン向けから店舗向けまで幅広いサービスを展開

オンライン決済サービス



事業者さま向けにオンライン決済事業を運営。40ブランド以上の豊富な決済手段をまとめてご提供。ソフトバンクグループの決済処理を行う安定した決済システムをご提供します。

店舗向け決済サービス



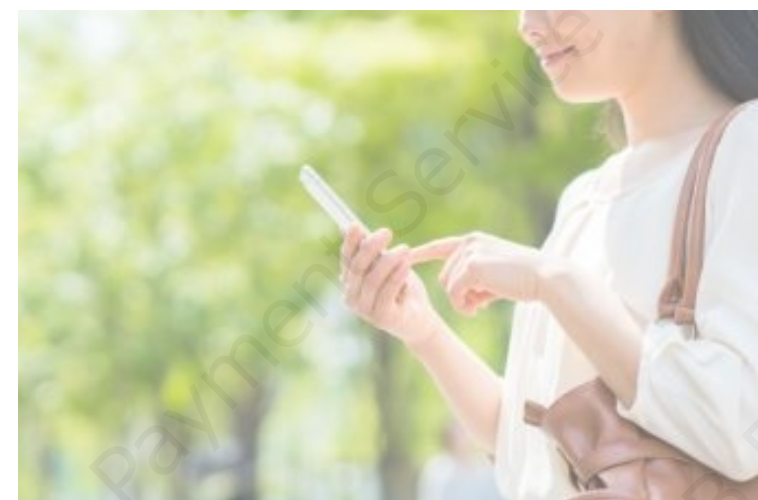
クレジットカード決済専用端末をはじめ電子マネー、QRコード決済にも対応したマルチ決済端末や、組み込み型決済端末までニーズに合わせて幅広いラインナップを提供。

カード加盟店業務



Visa、Mastercard、UnionPay（銀聯）のライセンスを保有しており、各ブランドのアクワイアラとして加盟店審査から加盟店管理、決済サービスまでをワンストップで提供。

キャリア決済



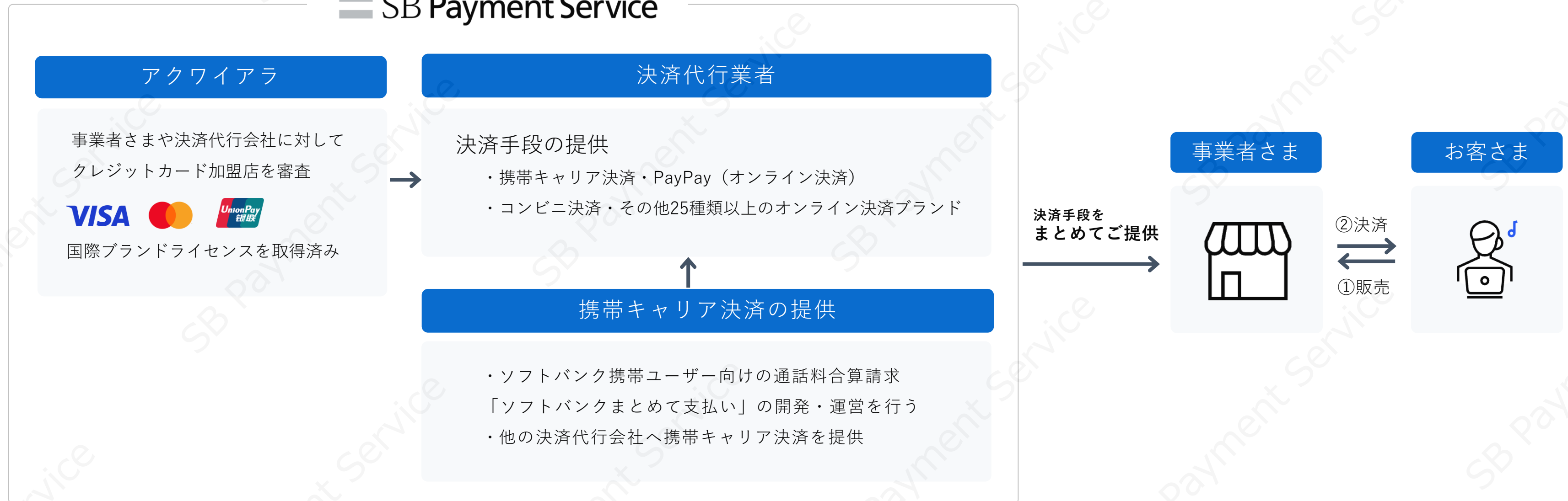
ソフトバンクと共同で、ソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」を開発・運営。決済機関として他決済代行会社へキャリア決済を提供。

決済業界と当社SBペイメントサービスの役割

当社SBペイメントサービスは決済代行会社として、クレジットカード決済に始まり多種多様な決済手段を事業者さまへ提供しています。

Visa・Mastercard・UnionPay（銀聯）の国際ブランドライセンスを取得し「アクワイアラ」というカード会社の立場として、事業者さまや他の決済代行会社に対してクレジットカード加盟店審査を行っています。また、ソフトバンクと共同でソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」の開発・運営を行い、他の決済代行会社へ携帯キャリア決済を提供しています。

SB Payment Service



当社の決済手段の詳細については、こちらをご確認ください。<https://www.sbpayment.jp/service/asp/>

SB Payment Service

情報革命で人々を幸せに ～ すべての人と価値をつなぐ ～

Thank you

下記よりお気軽にお問い合わせください。

導入・お見積りのご相談